

架け橋

発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課
鹿沼市今宮町1664-1
TEL: 0289(62)7167 FAX(62)0148
Email: kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

第8号(平成29年2月)

今年度茨城大学で社会教育主事講習を受講した2人から講習をふりかえり、感じたことや思っていることを、お聞かせいただきました。

ぜひお読みいただき、多くの先生方にも新しい情報として参考にしていただければ幸いです。



『講習を通して学んだこと』

【鹿沼市立中央小学校】 鈴木弘之 先生

講習を通し、実に多くの言葉や考えを学ぶことができました。これらの言葉を語る講師の先生方には皆それぞれの道への熱き思いがあり、そのことをひしひしと感じました。また、自分がいかに狭い枠の中で物事を考えていたかということにも気付かされました。そして、自分が学校教育だけではなく社会教育にも支えられて育ってきたかということも認識できました。

今後、自分も少しでも社会の役に立てるように、そして、型にはまった狭いものの見方からもう少し広い見方で物事を考えて生活していけたらと思います。講師の先生方、一緒に学んだ仲間の先生方、職場の先生方に深く感謝します。



『講習をとおして学んだこと、感じたこと、印象に残った言葉』

【日光市立猪倉小学校】 三品弘城 先生

縦と横、そして人と人との連携。それぞれがベクトルをそろえた時、人を育て、地域を創る大きな力となる。地域あつての学校である。学校と地域を対等にする。まずは、学校に協力してくれる地域の人を増やしていく。対話力が重要。“地域のため”という視点も大切にしたい。

あくまでWin-Winの関係で。普段のさりげないプラスαの会話を意識したい。外からの熱い思いに気付けるアンテナを保ちたい。教員の立場だけにとらわれず、子どもを見られる視点を忘れずにいたい。

将来、社会で生きる子どもの姿を意識しなければと思う。

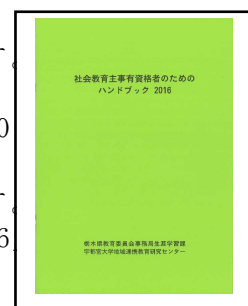


皆さん！御存じでしたか？

上都賀地区内の学校に有資格者が配置されている割合は約75%です。学校によって1名だったり、複数配置されていたりと様々です。

ちなみに、地区内の有資格者(教員)数は小学校で72名、中学校で40名、県立校で15名、教育委員会等で16名です。

また、地域連携教員が有資格者である割合は全校種とも約50%です。有資格者の名簿は「社会教育主事有資格者のためのハンドブック2016」に掲載されていますので参照ください。



とちぎ未来大使「夢」講座

栃木県では県内外で活躍し、とちぎの魅力・実力の対外的情報を積極的に行っている方に「とちぎ未来大使」を委嘱しています。

今年度から新たに、とちぎ未来大使を学校に招いて、中学校時代の経験や目標を講話や実演、交流等を通して生徒に伝えていただき、将来への「夢」を膨らませるという趣旨で「夢」講座を開催しました。

上都賀地区でも5つの中学校で講座を行い、講師として

和久文子さん〔和の継承大使〕
塚越広太さん〔栃木レーサー〕
竹澤恭司さん〔東洋建設社長〕
セルジオ越後さん〔栃木県広報官〕
涼風花さん〔書道家〕らが、母校

等で夢の実現のために大切なこと等を伝えてくださいました。この講座では、学校は趣旨に賛同いただいた未来大使の方と日程調整や事前打合せが必要ですが、費用等の学校負担はありませんので、関心がありましたらどうぞお気軽に応募ください。



邦楽演奏家（箏曲）
和久文子氏



レーシングドライバー
塚越広太氏

ぜひ！折に触れて御覧ください・・・

○学校と地域を結ぶ【リーフレット】

〔平成27年度〕地域連携教員活動支援事業資料

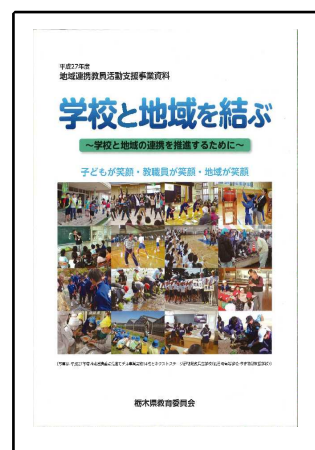
・・・全教職員に配布済

- ・モデル事業実施校の“特色ある学校づくり”や、
- ・地域連携の効果及び“活動状況調査の結果”等を紹介。
- ・“校内研修の実践計画〔例〕”等が詳細に記載。

〔平成28年度〕地域連携教員活動支援事業資料【作成中】

・・・全教職員に配布予定(3月)

- ・地域連携によって“期待される効果”や、
- ・“地域連携教員の活動事例”を紹介。
- ・“発達段階による地域や連携活動の捉え方”及び“活動状況”等掲載。



○地域連携教員のための「手引き書」を作成しています

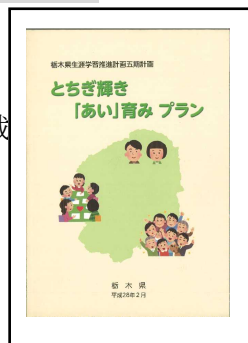
地域連携教員が設置されてから3年間、地域連携教員のガイドブックを作成してきましたが、3月末には新たに「手引き書」を各学校に配布いたします。手引き書では、取組方の手順を理論編、実践編で紹介していますので、有資格者の皆さんにとっても役に立つ情報が満載です。

○とちぎ輝き「あい」育みプラン

〔栃木県生涯学習推進計画五期計画〕

各学校には、昨年度末に配布されていますので、御一読いただければ幸いです。

なお、参考までに有資格者に関する記載は〔P.25〕、学校・家庭・地域の連携は〔P.21〕、親学習に関する内容は〔P.27〕交流や研修に関する内容等は〔P.39〕に紹介されています。



○地域連携教員のガイドブック【平成28年度版】

